

令和3年度 議会報告会『中学生との意見交換会』委員長まとめ

令和3年度の議会報告会は、新型コロナウイルス感染症の終息が見えないため、4月に対面式の形式ではなくリモートで開催することを決定し、ネット環境が整っている市立3中学校（生徒会）と議会報告会を開催する運びとなりました。

中学校と協議を進め、10月に中学3年生全員を対象に公民の授業の一環として事前レクチャー（議会の報告）を行い、「瑞浪市が抱える問題や将来の姿」から、生徒一人ひとりに意見や課題を考えていただくこととしました。その中から、各中学校で3問を絞っていただき、11月に各校代表生徒（生徒会）と意見交換会をすることにしました。

1. リモートでの中学3年生対象 事前レクチャー（10月5日（金）午後1時30分～）

各中学校3年生の9クラスと議会をリモートでつなぎ、約25分間のパワーポイントで「二元代表制と議会の役割、議会の構成」の説明後に、「瑞浪市が抱える課題と将来の姿」をレクチャーし「自分たちができることは何か」を問いかけました。

質疑応答の時間では、各クラスから「交通の不便さ」「学校のトイレの洋式化」などの要望や、「子育て支援について」「人口減少と伝統文化の継承」「ゴルフのまちが役立っていることは何か」などの質問をいただきました。

中学生のみなさんが地域での生活をよくするために真剣に考え、問いかけてくれる姿には大変感銘を受けました。また、事前レクチャー後の10月中旬に、全生徒さんからの合計554件もの質問や提案などをいただきました。

2. 議場での『中学生との意見交換会』（11月2日（火）午後3時50分～）

10月に入り新型コロナウイルス感染症の第5波の終息が見え始め、市内でのワクチン接種も進んだことから、意見交換会を議場で行うことにしました。議長が議事を進行し、中学生は質問席に立って質問し、議員が答弁するという、市政一般質問の形式で意見交換会を開催しました。各中学校の代表生徒は、質問席で堂々と質問を行い、議員の答弁に対して、自分の考えや意見を的確に述べていました。

意見交換会での堂々たる生徒たちの姿から、瑞浪市の明るい将来を期待できると実感しました。

3. 議会報告会『中学生との意見交換会』を実施して

リモートによる議会報告会や、議場での中学生との意見交換会は、コロナ禍での初めての試みでしたが、本市の中学生が自分の意見をしっかりと持ち、凛然たる態度で発言できる力を持っていることに感動するとともに、実りある議会報告会「中学生との意見交換会」であったと感じています。

みなさんからいただいた554件の意見の中には、「若者向けの娯楽施設がほしい」「大きなショッピングモールがほしい」などの子どもらしい意見がある一方で、「高齢化問題を解決するために私たちにできることは何か」「障がい者のためにバリアフリーを進めてほしい」などの心優しい意見や、「文化の継承や観光・市の魅力発信に仕方」についての質問も多く、若いみなさんの『ふるさと瑞浪市を大切にしたい』という思いが伝わってきました。

今回はコロナ禍でもあり、このような方法の議会報告会となりましたが、多くの市民の声を議会に反映させるためには、どのような状況でも議会報告会の形を模索しながら開催していくことが大切であると感じました。

最後に今回の企画に対してご理解いただき、意見の取りまとめなどにご協力いただいた各中学校の先生方、学校との調整やリモートに向けての準備に尽力いただいた教育委員会の皆様、資料作りや生徒さんの送迎など議会を支えていただいた事務局に感謝いたします。